

“Transformable Fashion”

-多様な着こなしのできるSDGs衣服の提案-

A22AB079 瀧澤 瑠依

1.はじめに

近年、ファストファッションの普及により衣服の大量生産・大量消費・大量廃棄が問題となっている。安価で流行性の高い衣服が短期間で消費、廃棄されることで、消費者の衣服に対する意識低下や環境負荷の増大が指摘されている。また、コロナ禍でのデジタル化の加速により、オンラインショッピングの利用が増加し、実物を確認せずに衣服を購入する機会も増えた結果、サイズやイメージの相違による不要な購入や返品、廃棄が生じやすい状況となっている。

このような背景から、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に基づき、ファッション産業においても環境負荷低減と資源循環を重視した「サステナブル」な取り組みが求められている¹⁾。サステナブルとは、将来の世代が自らのニーズを満たす能力を損なうことなく、現代のニーズを満たすことのできる社会のあり方を指し、衣服におけるサステナブルとは、環境負荷を最小限に抑えた生産・流通・消費、長期間着用可能なデザインと品質、公正な労働環境への配慮、過剰な消費の抑制、再利用や修理、リサイクルが可能な設計など、多様な視点を含む。

本研究では、1つの服で複数の着用パターンが可能な衣服を提案することで、衣服の着用シーン拡大による衣服寿命の延長を目指すことで、サステナブルなファッションの実現に寄与することを目的とした。

2.文献調査

2-1 サステナブル

「サステナブル²⁾」とは、英語のsustain(持続する)とable(できる)を組み合わせた言葉であり、「持続可能な」という意味を持つ。これは、将来の世代の暮らしや環境を損なうことなく、現在の豊かさを成り立たせていく考え方である。

ファッション業界は、大量生産・大量消費・大量廃棄の構造を持ち、環境負荷が大きい産業の一つとされている。そのため、サステナブルの視点から見直すべき課題が多く存在する。

サステナブルファッションとは、環境・社会・人への影響に配慮しながら、将来にわたって持続可能な形で衣服の生産および消費を行う考え方である。具体的には、素材選び、製造過程、労働環境、着用期間、廃棄方法に至るまでを含め、長く大切に着用できる衣服を目指すことが重要であると考えた。

2-2 Transformable Fashion

私が考えるTransformable Fashion³⁾とは、一つの衣服が着用方法や形状の変化によって、複数のスタイルや用途を持つ衣服であり、一着で何通りもの着用が可能となる。このような衣服は、着用シーンや季節、個人の好みに柔軟に対応でき、衣服の着用回数や着用期間を延ばすことができる。その結果、衣服の購入点数や廃棄料の削減に繋がり、サステナブルファッションの観点から有効だと考えた。

2-3 アイテム別衣服の購入状況

衣服の需要傾向を把握するため、2023年度の品目別購入衣服枚数に関する報告⁴⁾を調査した。本調査では、衣料品を20品目に分類し、1人当たり月平均購入枚数が算出されており、全20品目の平均値は0.581枚であった。その中で、ワンピースおよびスカートの1人当たりの平均購入枚数は、それぞれワンピース1.23枚、スカート1.28枚であり、いずれも全体平均を大きく上回り、1人につき月1枚以上購入されていることが分かった。この結果から、ワンピースおよびスカートは需要が高い衣服であると考えられる。

また、人の衣服の色選択に関する調査では、(一財)日本色彩研究所「<研究1部報>女性服装色の変遷と平成の傾向(銀座街頭)⁵⁾」をもとに白服と黒服の着用率の時代推移を調査した結果より、黒は性別や年齢を問わず着用率が高く、フォーマルからカジュアルまで幅広い場面で使用されている色であることが示されている。この点から、本研究では汎用性が高く、長期間着用されやすい色として黒を採用した。

3.作品制作

調査結果を踏まえ、1着で複数の着用方法が可能な衣服デザインのスカートを考案した。着用方法を変えることで異なるシルエットや印象を楽しめる2way・3way仕様とし、着用者の気分に応じてワンピースやスカートと様々な着こなしが可能となることを目指した(図1)。これにより、1着あたりの着用回数を増やし、衣服の新規購入の抑制効果を期待する。デザインの決定に際し、トワル組を行い、ワンピース、トップス、スカートのシルエットやフィット感、着脱のしやすさなどを検討した(図2)。

布の選定においては、長期使用を前提とし、耐久性に優れた素材を重視し、摩耗や引き裂き、収縮に強く、形崩れしにくい特性を持つポリエステル素材に着目し、ポリエステルを含む布地を採用した。

本衣服は、場面や気分に応じて複数の着用パターンが選択できるため、フォーマルから日常まで幅広いシーンでの活用が可能である。これにより、心理的な飽きを軽減し、衣服の物理的寿命だけでなく、心理的寿命を延ばす効果が期待される。サステナブルファッショにおいて重要なのは、環境配慮素材を使用することだけでなく、衣服の長期着用を促す仕組みの構築である。

本研究では、1着で複数の役割を持たせるデザインにより、衣服の新規購入機会の減少と衣服の廃棄量の削減に寄与する可能性を示した。また、耐久性の高い素材を用いることで、洗濯や日常使用による劣化を抑え、結果として衣服廃棄量の削減につながると考えられる。ポリエステル素材は環境負荷の課題も指摘されているが、長期間使用されることで環境負荷を相対的に低減できると考えられる。

完成作品を図3に示した。



ワンピース

スカート

図1 デザイン画



ワンピース

スカート

図2 トワル組



ワンピース

スカート

図3 完成作品

4. まとめ

本研究では、ファストファッショの普及による大量生産・大量消費・大量廃棄という現在の衣服消費の問題に着目し、「一着の服で複数の着用パターンを可能にする衣服」を通して、サステナブルファッショの新たな可能性を探った。

流行や季節に左右されない色やデザインを選択し、一着の衣服に複数の着用パターンを持たせることを試みた。着用の仕方や印象が変化する服は、着用者に新たな価値を感じさせ、結果として衣服の使用期間を延ばす可能性がある。本研究を通して、衣服形状は衣服の寿命に関わる重要な要素であることを再認識した。

サステナブルファッショは特別なものではなく、日常の中で自然に選ばれ、使い続けられる衣服であることが重要である。本研究で提案した服は、その一つの可能性を示すものとなり、今後の衣服設計における基礎的な視点になり得ると考えた。

5. 参考文献

1)SDGsって何だろう？：

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/about/>

2)「サステナブル」ってなんだろう。：

<https://www.benesse.co.jp/brand/about/>

3) Transformable Fashion: The Biggest Sustainable Clothing Trend That Never Was,

<https://www.fashionstudiesjournal.org/longform/2018/9/15/transformable-fashion>

4)(一社)日本衣料管理協会:「衣料の使用実態調査」2025年1月

5)歩行者の服装色に関する調査：

<https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/SOCIAL/SAFETY/HELLOSAFETY/LAB/ACTIVITY/NEWS/202205/>

6)生地の選び方:<https://kidaorimono.com/>